

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

春節が明けて観光客も落ち着きましたが・・・

JSC 貿易部ニュース 中国編



3月に入り桜の季節までもう少しとは言え、まだまだ寒さ厳しい折り、皆様いかがお過ごしでしょうか？

2月中は日本海側や東北地域、北海道にお住いの皆様は、幾度も大雪に見舞われるなどご苦労も多かったかと存じます。毎年のこととはいえ、普段雪のない地域に住む私たちでは想像もできない大変さだと思います。お見舞い申し上げます。

さて、旧正月期間中は日本全国の都市、観光地に多くの観光客が訪れ、新幹線の駅や空港は大混雑でしたが、パンデミックの再来も心配していたほど大事にはならず、ひと安心といたったところでしょうか。

WHO 世界保健機関によりますと、中国で感染が増え、警戒されていた「ヒトメタニューモウイルス感染症」について、感染者の規模は想定内の範囲内だったらしいです。

新たなウイルスかと心配された「ヒトメタニューモウイルス感染症」、熱やせきなどの症状が出る感染症の1つで、高齢者や乳幼児などが感染し発症すると重症化する恐れもあると言われていたのでちょっと心配していたのですが、新しいウイルスではなく、かぜに似た症状を引き起こすものの、致死率は低いということらしく、逆にインフルエンザの方が猛威を振るっていた感じでした。

いずれにしても、最近気が緩んでいる手洗いやアルコールによる消毒、マスクの着用など一般的な対策はしっかり思い出して継続したいと思います。

さて、石材業界では旧正月のお休みも明け、中国の各石材工場も本格的に動き出しました。

しかし、「さあ、これから再開!」「春のお彼岸や年度末に間に合うように!」と気合を入れ直した休み明け。

石井地区の一部工場から労使交渉が上手くまとまらず「ストライキ」とのニュースが飛び込んできました。最終的に妥結して早期再開とはなったものの、ヒヤッとするニュースでした。

冬場になって閑散期を迎える石材業界。従来からの注文量の減少傾向に加え、日本から中国工場への注文はさらに減っています。

年末に一年の業績を改めて計算したところ、やはり赤字という工場も多くあり、外柵を生産する石井地区の一部工場では、工員に対し5%給料ダウンの申し入れをしたところもあり、ストライキに至ったとのこと。最終的には賃下げを見送ることで合意したようですが、休み明け早々から厳しい石材業界の現状を反映している出来事に緊張感が走りました。

日本石材センター貿易部では、2025年「安定供給」を第一に、石材店の皆様に貢献してまいりますのでよろしくお願いいたします。

今月の石種紹介

最近、関東の一部の霊園様で取り扱いが始まっている「ベトナムピンク」

「日本石材センターでは、取扱いしていないの?」というお声をいただくことも増えてきていたのでご用意しました。



当社では、ベトナム加工でお届けすることはできませんが、中国工場で加工してお届け可能です。

メリットは、ベトナム加工よりも短期間でお届けできることくらいかもしれませんが、原石ストックは皆様のご注文に対応できるよう十分な量を確保しております。

3mが取れる長尺原石もストックがありますので、ご関心がおありの石材店様は担当営業にご相談ください。

まだまだ、建立実績が少なく経年変化などは引き続き調査が必要かと思われませんが、注目石材のひとつでもありますので、定期的に追加情報を発信してまいりたいと思います。

今月のメルマガは以上となりますが、桜の季節までもう少し。忙しくなるシーズンに向けしっかり準備をしてまいりますので、ご注文の方もよろしくお願い致します。

それでは最後までお読みいただきありがとうございました。

2025/03/01